

広域化組織における田んぼダム事業

—洪水防止機能—

新潟県 ^{みつけ}見附市



見附市では、平成 22 年度から市内を流れる貝喰川流域の農地や市街地の洪水被害を軽減することを目的に、見附市、刈谷田川土地改良区、圃場施設維持管理組合（農家）の 3 団体が協力し、県営ほ場整備事業見附地区内の水田に独自の水位調整管を設置している。



^{みつけ}新潟県見附市



新型調整管
【見附モデル】

〔洪水防止機能〕

見附市での田んぼダム事業は堰板方式によるものではなく、市独自の水位調整管を採用している。

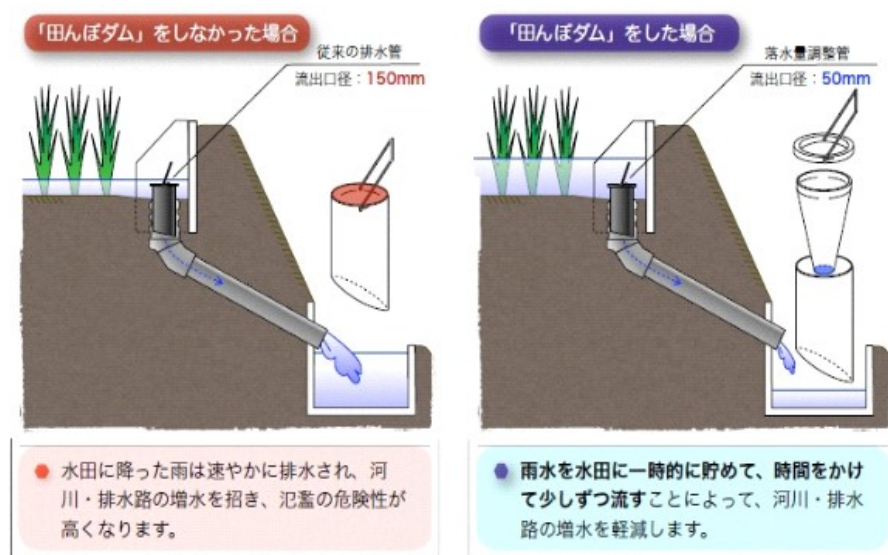
初期のモデルは、流失抑制する穴が横に設置されており、二重構造の内側円筒の上げ下げによる調整が必要のため、農家の作業負担が大きいものであった。新潟大学と協働で調整管の開発を行い、平成 26 年度からは開発した縦穴方式に変更し、設置されていれば、操作せずに、安定した効果が発現できる構造で農家負担の軽減を図った。

現在、2,480ha のうち約 1,200ha の水田に約 2,700 箇所設置されている。



※田んぼダム 見附市内実施区域図
河川流域の水田で多く実施されている。
（黄緑色部分）

見附市田んぼダム実施区域



《見附市》

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/soshiki/22/3201.html>